

令和4年

消防年報

石岡市消防本部

〈令和5年刊行〉

はじめに

本書は、当市の現勢及び令和4年中の消防業務に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集しました。

なお、この統計中予算関係事項については会計年度とし、その他の概要については、当該表にそれぞれ記載した年月日によるものであります。

令和5年8月

石岡市消防本部

目 次

石岡市の概要	1
石岡市消防本部のあゆみ	2～4
石岡市消防団のあゆみ	5～6

第一章 総 務

1 庶 務	
(1) 石岡市消防本部・消防署の組織	7
(2) 事務分掌	8～11
(3) 予算	12
(4) 職員配置状況	13～16
2 施設機械	
(1) 消防力の分布	17
(2) 消防機動力	18～19
(3) 消防車両等配置状況	20
(4) 消防水利の状況	21

第二章 予 防

1 火災予防	
(1) 主な火災予防の行事	22
(2) 立入検査	22
2 防火対象物状況	
消防用設備等を必要とする防火対象物の状況	23
3 予防事務処理状況	
(1) 法令関係	24
(2) 火災予防条例関係	24
(3) 建築確認に対する消防同意関係	24

4 危険物	
(1) 危険物製造所等の施設数	25
(2) 数量別危険物施設状況	25
(3) 危険物事務処理状況	26
5 防火広報協力団体一覧	
防火広報協力団体	27

第三章 警 防

1 火 災	
(1) 月別火災発生状況	28
(2) 用途又は出火物件	29
(3) 時間・原因別火災発生状況	29
(4) 過去5カ年の出火原因	30
(5) 警防隊の訓練	31～32
2 救 急	
(1) 救急出動状況	33
(2) 曜日別・事故種別出動件数	34
(3) 傷病程度別搬送人員	34
(4) 署所別救急出動及び搬送人員	35
(5) 事故種別・年齢別搬送人員	35
(6) 発生場所別搬送人員	35
(7) 救命講習会実施状況	36
(8) 救急救命士配置状況	36
3 救 助	
(1) 救助出動状況	37
(2) 行事	37
(3) 訓練状況	37
(4) 救助隊員配置状況	37
4 情報通信	
(1) 災害覚知別受信状況	38
(2) 緊急通報システム受信状況	38
(3) 気象年報	39
(4) 119番通報入電から緊急出動まで	40

第四章 消防団

1 庶務

(1) 消防団の組織図	41
(2) 団員関係	42~43
(3) 消防団員の報酬・費用弁償	43

2 施設機械

(1) 消防団詰所（車庫）概要	44
(2) 消防団機動力	45
(3) 消防団車両現勢	46
(4) 消防団分布図	47
(5) TOPICS	48

石岡市の概要

石岡市は、茨城県のほぼ中央に位置し、市域の北西部に連なる筑波山系から南部の市街地にかけてなだらかな丘陵地が広がり、市北部から東南端へと流れる恋瀬川は、日本第2位の面積を持つ霞ヶ浦にそそいでいます。また、首都圏と東北地方を結ぶ常磐自動車道、国道6号、JR常磐線が市を南北に貫き、この交通条件の良さが、市民生活はもちろんのこと企業誘致や農作物の出荷などにおいて有利に働いています。

さらに、市域のすぐ北を北関東自動車道が横断しているほか、茨城県の空の玄関口である茨城空港も、市内から約10キロメートルの距離にあります。

市章



石岡市の人口（令和5年4月1日現在）

男	35,621人
女	35,903人
合計	71,524人
世帯数	31,780世帯



市の木 しい
(平成17年10月制定)



市の花 ゆり
(平成17年10月制定)



市の鳥 ひばり
(平成17年10月制定)

石岡市消防本部のあゆみ

平成17年	10月1日	石岡市消防本部及び消防署設置条例が施行され、消防本部3課1室、3消防署1分署、2出張所、消防吏員130名(定員135名)事務員3名(定員4名)により発足。
平成18年	12月26日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し、八郷消防署に配備。
平成19年	3月30日	茨城県立消防学校から吏員1名帰任。(平成16年度旧石岡市から派遣)
	10月1日	石岡市石岡の町界町名変更に伴い、本部所在地を「石岡市石岡一丁目2番地18」と改める。
	11月6日	市町村合併推進体制整備費補助を受け、高規格救急自動車1台を更新し、八郷消防署山崎出張所へ配備。
	12月7日	市町村合併推進体制整備費補助を受け、消防ポンプ自動車1台を更新し、石岡消防署愛郷橋出張所へ配備。
	12月12日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、救助工作車1台を更新し、石岡消防署へ配備。
平成20年	2月1日	旧救助工作車を学校教育訓練用として、茨城県立消防学校に無償譲渡。
	4月1日	石岡市消防本部の組織等に関する規則の一部改正、通信指令室を通信指令課と改め消防本部4課となる。
平成21年	5月25日	石岡市危険物安全協会設立50周年式典を開催、石岡市危険物安全協会から連絡車(プロボックス)が寄贈され、消防本部に配備。
平成22年	4月1日	茨城県防災航空隊へ吏員1名派遣。
平成23年	4月2日	東日本大震災における緊急消防援助隊茨城県隊として、救急部隊及び後方支援部隊を福島県へ派遣。
	5月13日	緊急消防援助隊茨城県隊が活動を終え、救急部隊及び後方支援部隊帰任する。(吏員計16名派遣)
	11月9日	東日本大震災において緊急消防援助隊茨城県隊として、災害活動に従事した功績により、総務大臣表彰を授与する。
平成25年	1月18日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、高規格救急自動車1台を更新し、石岡消防署愛郷橋出張所へ配備。
	3月29日	茨城県防災航空隊から吏員1名帰任。
	4月1日	茨城県生活環境部防災・危機管理局消防安全課へ吏員1名派遣。
平成26年	1月6日	高規格救急自動車1台を更新し、石岡消防署へ配備。
	2月6日	消防ポンプ自動車1台を更新し、八郷消防署山崎出張所へ配備。
	3月18日	指揮車1台を更新し、石岡消防署へ配備。
	4月1日	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会へ吏員1名派遣。
	11月3日	高規格救急自動車1台を更新し、石岡消防署柏原分署へ配備。
平成27年	1月27日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、化学消防車(CAFS搭載)1台を更新し、石岡消防署柏原分署へ配備。
	3月31日	茨城県生活環境部防災・危機管理局消防安全課から吏員1名帰任。
	11月20日	消防ポンプ自動車1台(CAFS搭載)を更新し、八郷消防署へ配備。

平成28年	1月7日	高規格救急自動車1台を更新し、八郷消防署山崎出張所へ配備。
	4月1日	石岡市消防本部の組織等に関する規則の一部改正、通信指令課を廃止し、消防本部3課となる。 いばらき消防指令センターへ吏員2名派遣。
平成29年	1月17日	緊急消防援助隊設備整備費補助を受け、水槽付消防ポンプ自動車(CAFS搭載)1台を更新し、石岡消防署柏原分署へ配備。 消防ポンプ自動車(CAFS搭載)1台を更新し、石岡消防署へ配備。
	4月1日	宮城県気仙沼市へ吏員1名派遣。 茨城県立消防学校へ吏員1名派遣。
平成30年	2月16日	高規格救急自動車1台を更新し、八郷消防署へ配備。
	3月31日	宮城県気仙沼市から吏員1名帰任。 いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
	4月1日	宮城県気仙沼市へ吏員1名派遣。
	8月29日	広報車を1台更新し、連絡車として消防本部へ配備。
平成31年	3月31日	宮城県気仙沼市から吏員1名帰任。 茨城県立消防学校から吏員1名帰任。 いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
	4月1日	茨城県防災・危機管理部消防安全課へ吏員1名派遣。 いばらき消防指令センターへ吏員1名派遣。
令和元年	5月1日	元号が令和となる。
	10月25日	石岡市危険物安全協会設立60周年式典を開催、石岡市危険物安全協会から搬送車(ハイゼットトラック)が寄贈され、消防本部へ配備。
	11月15日	石岡市幼少年婦人防火委員会の名称を石岡市幼少年女性防火委員会に変更するとともに、市内の婦人防火クラブの名称も女性防火クラブへ変更。
令和2年	3月31日	いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
令和3年	3月31日	茨城県防災・危機管理部消防安全課から吏員1名帰任。
	4月1日	茨城県防災航空隊へ吏員1名派遣。
	6月10日	石岡消防署愛郷橋出張所が、石岡市高浜歩行1335番地から新庁舎(鉄骨造平屋建て 述べ面積544.38㎡)の石岡市三村6921番地1に移転し共用を開始する。
	7月24日	石岡消防署愛郷橋出張所新庁舎の開所式を挙げる。 静岡県熱海市土石流災害における緊急消防援助隊茨城県隊として、消火救助部隊を静岡県へ派遣。
	7月26日	緊急消防援助隊茨城県大隊が活動を終え、消火救助部隊帰任する。 (吏員計4名派遣)
令和4年	2月17日	連絡車(ハイエース)1台を更新し、石岡消防署愛郷橋出張所へ配備。
	2月21日	静岡県熱海市土石流災害における緊急消防援助隊茨城県大隊として、災害活動に従事した功績により、消防庁長官表彰、茨城県知事感謝状、緊急消防援助隊活動章を授与する。

令和4年	3月16日	高規格救急自動車1台を購入し、石岡消防署へ配備。
	3月31日	いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
	4月1日	いばらき消防指令センターへ吏員1名派遣。
	10月4日	連絡車(フリード)1台を更新し、消防本部へ配備。
令和5年	3月31日	いばらき消防指令センターから吏員1名帰任。
	4月1日	いばらき消防指令センターへ吏員1名派遣。 石岡市消防職員定数条例が改正され、定数が139名から150名となる。

石岡市消防団のあゆみ

平成17年	10月1日	石岡市消防団条例が施行され、石岡市石岡消防団(10分団、団長以下176名)並びに石岡市八郷消防団(8分団32部、団長以下452名)により発足。
平成18年	2月10日	石岡市消防団(旧石岡)が、財団法人日本消防協会から最高栄誉賞「まとい」を授与する。
	3月17日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第7分団及び第10分団へ配備。
	4月1日	石岡市消防団条例を一部改正し、石岡市石岡消防団並びに石岡市八郷消防団を統合。石岡市消防団(1本部18分団32部、団長以下628名)となる。
	10月21日	第57回茨城県消防ポンプ操法競技大会新治地区大会が開催され、第10分団(ポンプ車の部にて敢闘賞)並びに第15分団4部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月28日	消防ポンプ自動車1台を更新し、第15分団へ配備。
平成19年	10月20日	第58回茨城県消防ポンプ操法競技大会新治地区大会が開催され、第15分団1部(ポンプ車の部にて優勝)並びに第16分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
平成20年	3月30日	市町村合併推進体制整備費補助を受け、第11分団第2部車庫兼詰所が竣工。
	10月18日	第59回茨城県消防ポンプ操法競技大会新治地区大会が開催され、第18分団1部(ポンプ車の部にて優勝)並びに第14分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
	11月15日	自治体消防60周年記念茨城県消防ポンプ操法競技大会中央大会が開催され、第18分団1部(ポンプ車の部にて敢闘賞)が代表として出場。
平成21年	10月18日	第60回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第12分団4部(ポンプ車の部にて準優勝)並びに第15分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
平成22年	10月24日	第61回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第1分団(ポンプ車の部にて入賞)並びに第15分団4部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
平成23年	10月23日	第62回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第12分団1部(ポンプ車の部にて入賞)並びに第11分団4部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月19日	第23回全国消防操法大会茨城県代表選考会が開催され、第11分団4部(小型ポンプの部にて入賞)が代表として出場。
平成24年	10月14日	第63回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第12分団2部(ポンプ車の部にて入賞)が代表として出場。
平成25年	10月14日	第64回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第1分団(ポンプ車の部にて敢闘賞)並びに第16分団1部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
	11月3日	自治体消防65周年記念茨城県消防ポンプ操法競技大会中央大会兼第24回全国消防操法大会茨城県代表選考会が開催され、第15分団2部(小型ポンプ操法の部にて敢闘賞)が代表として出場。

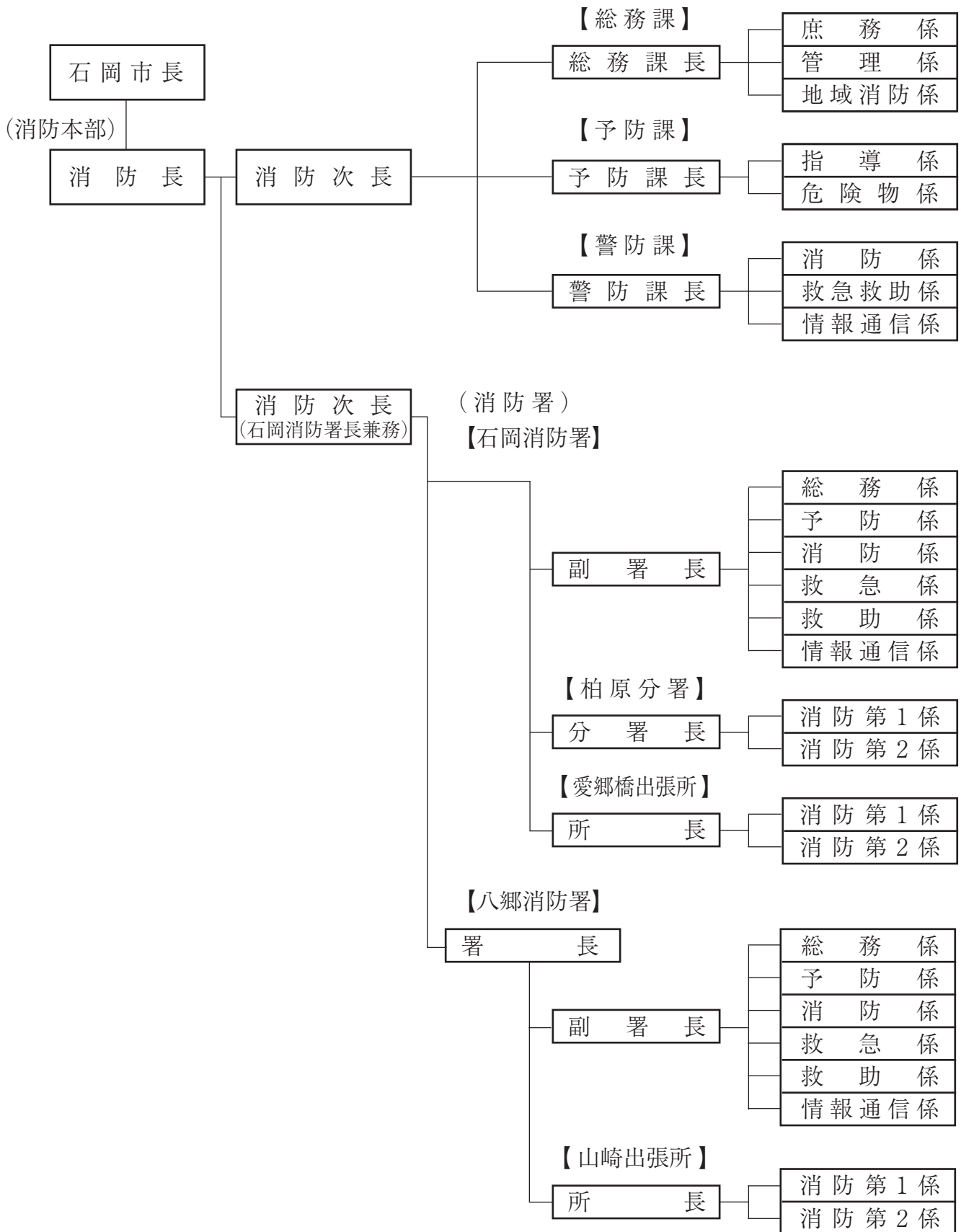
平成26年	1月28日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第1分団及び第15分団2部へ配備。
	10月19日	第65回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第14分団1部(ポンプ車の部にて敢闘賞)並びに第16分団2部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
平成27年	10月11日	第66回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第1分団(ポンプ車の部にて優勝)並びに第15分団4部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月2日	消防ポンプ自動車1台を更新し、第16分団1部へ配備。
	11月21日	第25回全国消防操法大会茨城県代表選考会が開催され、第15分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
平成28年	10月16日	第67回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第12分団2部(ポンプ車の部にて準優勝)並びに第11分団4部(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
	12月9日	消防ポンプ自動車1台を更新し、第14分団3部へ配備。
平成29年	10月15日	第68回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第1分団(ポンプ車の部にて第3位)並びに第15分団2部(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月7日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第2分団及び第18分団1部へ配備。
平成30年	4月1日	石岡市消防団再編により、八郷地区8個分団4部制を廃止、16分団制とし石岡市消防団26分団制で運用を開始する。
	10月5日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第3分団及び第4分団へ配備。
	10月21日	第69回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第17分団(ポンプ車の部にて第4位)並びに第14分団(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
令和元年	10月20日	第70回茨城県消防ポンプ操法競技大会県南北部地区大会が開催され、第9分団(ポンプ車の部にて第4位)並びに第20分団(小型ポンプの部にて優勝)が代表として出場。
	11月16日	第27回全国消防ポンプ操法競技大会茨城県代表選考会が開催され、第20分団(小型ポンプの部にて敢闘賞)が代表として出場。
令和2年	2月20日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第11分団及び第23分団へ配備。
令和3年	1月24日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第13分団及び第22分団へ配備。
	4月1日	機能別団員制度を導入し、各分団下で運用を開始する。
令和4年	2月5日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第15分団及び第17分団へ配備。
令和5年	2月4日	消防ポンプ自動車2台を更新し、第8分団及び第24分団へ配備。
	3月28日	石岡市消防団第23・24分団詰所が完成。

第一章 総務

1. 庶務

(1) 石岡市消防本部・消防署の組織

令和5年4月1日現在



(2) 事務分掌

消防本部

総務課	庶務係	<p>人事及び組織に関すること。 職員の服務及び服制に関すること。 職員の教養，指導に関すること。 職員の福利厚生に関すること。 消防関係表彰に関すること。 文書の収受，発送に関すること。 公印の保管に関すること。 予算及び経理，諸給与に関すること。 消防関係諸規定の制定，改廃に関すること。 消防統計広報に関すること。 その他他の課，係に属さないこと。</p>
	管理係	<p>補助事業及び請負契約に関すること。 庁用備品及び財産の管理に関すること。 消防水利，諸施設の整備保全に関すること。 消防機械器具の整備保全に関すること。 機関員の技能及び指導に関すること。 車両の交通事故に関すること。</p>
	地域消防係	<p>消防団に関すること。 消防協会に関すること。 消防団員の任免，表彰及び報酬等に関すること。 消防団員の公務災害補償，福利厚生及び健康管理に関すること。 消防団員の教育訓練に関すること。 消防団員の被服に関すること。 その他消防団事務に関すること。</p>
予防課	指導係	<p>火災予防及び普及宣伝に関すること。 防火対象物の査察指導に関すること。 消防用設備等に関すること。 建築物確認同意に関すること。 防火管理者に関すること。 査察計画及び技術指導に関すること。 幼少年女性防火委員会の事務に関すること。 その他予防事務に関すること。</p>
	危険物係	<p>危険物製造所等の許認可に関すること。 危険物製造所等の規制，査察指導に関すること。 液化石油ガス販売事業許可の申請に関すること。 消防法（昭和23年法律第186号）第9条の3に基づく各種届出に関すること。 危険物の火災予防に関すること。 危険物安全協会に関すること。 その他危険物に関すること。</p>

警 防 課	消 防 係	<p>消防相互応援に関する事 火災統計に関する事 警防計画、警防調査に関する事 出動計画に関する事 出動部隊の統制に関する事 水火災の警戒、防衛活動に関する事 火災原因及び損害の調査に関する事 消防訓練の企画・立案に関する事 消防協力者に関する事 部隊表彰の上申に関する事 緊急消防援助隊に関する事 その他警防事務に関する事</p>
	救 急 救 助 係	<p>救急業務に関する事 救助業務に関する事 救急、救助の統計に関する事 応急手当の普及啓発に関する事 救急救助の相互応援に関する事 救急救助資機材の管理に関する事 消防職員の感染防止に関する事 救急医療機関との連絡調整に関する事</p>
	情 報 通 信 係	<p>いばらき消防指令センターに関する事 消防情報に関する事 消防緊急情報システム運用に関する事 消防通信及び消防情報機器の整備保全に関する事 気象に関する事 災害速報及び詳報に関する事 防災通信業務に関する事 その他情報通信事務に関する事</p>

消防署

総務係	<p>係の総括に関する事。</p> <p>文書の発取に関する事。</p> <p>公印の管守に関する事。</p> <p>消防職員の教育訓練及びサービスに関する事。</p> <p>署の勤務に関する事。</p> <p>庁舎及び車両等の管理保全に関する事。</p> <p>消防用備品等の管理保全に関する事。</p> <p>消防団操法指導等に関する事。</p> <p>他の主管に属さない事。</p>
予防係	<p>火災予防条例に関する事。</p> <p>火災予防の普及広報に関する事。</p> <p>防火対象物等立入検査に関する事。</p> <p>一人暮らし老人の調査に関する事。</p> <p>空地、空家等の火災予防に関する事。</p> <p>住宅防火に関する事。</p> <p>自主防災組織の訓練指導に関する事。</p> <p>建築確認同意に関する事。</p> <p>民間防火組織の育成指導に関する事。</p>
消防係	<p>水火災等の警戒、防御活動及び警防対策に関する事。</p> <p>地理及び水利の調査に関する事。</p> <p>水利施設の維持管理に関する事。</p> <p>火災の調査及び報告並びに諸証明に関する事。</p> <p>防火対象物の調査に関する事。</p> <p>防火対象物の訓練指導に関する事。</p> <p>消防協力者に関する事。</p> <p>消防訓練に関する事。</p>
救急係	<p>救急業務に関する事。</p> <p>救急証明に関する事。</p> <p>救急隊員の教育訓練に関する事。</p> <p>救急業務に係る広報に関する事。</p> <p>応急手当普及啓発活動及び指導に関する事。</p>
救助係	<p>救助業務に関する事。</p> <p>救助隊員の教育訓練に関する事。</p> <p>救助業務に係る広報に関する事。</p> <p>中高層特殊建物の調査及び対策に関する事。</p> <p>高圧ガス製造所の保安管理に関する事。</p>
通信係	<p>消防情報に関する事。</p> <p>消防通信及び消防情報機器の整備保全に関する事。</p> <p>気象に関する事。</p> <p>災害の速報及び詳報に関する事。</p>

分 署

<p>消 防 第 1 係</p>	<p>分署の勤務に関すること。 庁用備品及び財産の管理に関すること。 消防機械器具の整備保全に関すること。 気象測定業務に関すること。 水火災等の警戒，防御活動及び警防対策に関すること。 火災の原因及び損害の調査に関すること。 その他分署に属すること。</p>
<p>消 防 第 2 係</p>	<p>救急業務に関すること。 地理及び水利の調査に関すること。 火災予防条例関係諸届出及び検査に関すること。 火災予防及び普及宣伝に関すること。 防火対象物等立入検査に関すること。 警報，注意報及び消防信号に関すること。 防火対象物の訓練指導に関すること。 庁舎内外の火気，電気，ガス及び危険物の管理に関すること。 民間防火組織の育成に関すること。</p>

出張所

<p>消 防 第 1 係</p>	<p>出張所の勤務に関すること。 庁用備品及び財産の管理に関すること。 消防機械器具の整備保全に関すること。 気象測定業務に関すること。 水火災等の警戒，防御活動及び警防対策に関すること。 火災の原因及び損害の調査に関すること。 その他出張所に属すること。</p>
<p>消 防 第 2 係</p>	<p>救急業務に関すること。 地理及び水利の調査に関すること。 火災予防条例関係諸届出及び検査に関すること。 火災予防及び普及宣伝に関すること。 防火対象物等の査察指導に関すること。 警報，注意報及び消防信号に関すること。 防火対象物の訓練指導に関すること。 庁舎内外の火気，電気，ガス及び危険物の管理に関すること。 民間防火組織の育成に関すること。</p>

(3) 予 算

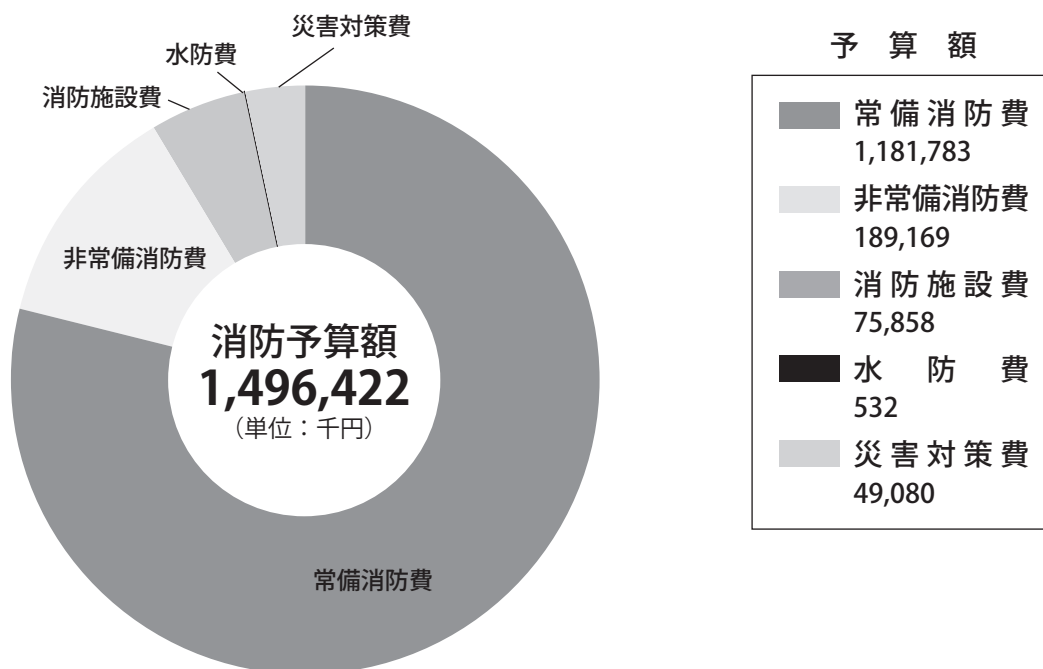
市予算と消防予算の年度別比較

(単位：千円)

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市 予 算	33,230,804	34,460,000	32,780,000	35,260,000	37,100,000
消 防 予 算	1,687,280	2,137,906	1,423,725	1,505,388	1,496,422
消防予算割合	5.1%	6.2%	4.3%	4.3%	4.0%

(小数点第1位未満四捨五入)

(消防当初予算内訳) ※災害対策費においては、市防災危機管理課で執行しています。



人口並びに世帯当たりの消防費の年度別比較

各年4月1日現在

区 分	消防予算(当初)	人 口	世 帯 数	負 担 額 (単位：円)	
	(千円)			市民一人当たり	一世帯当たり
令和元年度	1,687,280	74,939	30,876	22,516	54,647
令和2年度	2,137,906	74,286	31,205	28,880	68,512
令和3年度	1,423,725	73,293	31,403	19,426	45,338
令和4年度	1,505,388	72,281	31,478	20,827	47,824
令和5年度	1,496,422	71,524	31,780	20,922	47,087

(1円未満切り上げ)

(4) 職員配置状況

ア 消防職員配置一覧

令和5年4月1日現在

区 分		消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 長	消 防 副士長	消防士	事 務 員	計
消 防 本 部	消 防 長	1								1
	消 防 次 長		2							2
	総 務 課		1	3(2)	3(2)	2(2)	(2)	(2)		9(10)
	予 防 課		1	1(2)	2(2)	(2)	(2)	(2)		4(10)
	警 防 課		1	2(2)	1(2)	(2)	(2)	(2)		4(10)
	派 遣			1	2					3
	計	1	5	7(6)	8(6)	2(6)	(6)	(6)		23(30)
消 防 署	石岡消防署		2	10	7	11	6	12		48
	柏原分署			2	2	4	2	2		12
	愛郷橋出張所			2	2	3	3	2		12
	八郷消防署		1	7	4	6	3	6		27
	山崎出張所			2	2	4	4			12
	計		3	23	17	28	18	22		111

()は本部兼務署員数

【派遣内訳】

いばらき消防指令センター 2人

茨城県防災・危機管理部消防安全課 1人

(茨城県防災航空隊)

イ 消防吏員の年齢分布

令和5年4月1日現在

年 齢 \ 階 級	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
計	134	1	8	30	25	30	18	22
18歳								
19歳								
20歳	1							1
21歳	4							4
22歳	5							5
23歳	5						1	4
24歳	8						3	5
25歳	4						2	2
26歳	2						2	
27歳	4						4	
28歳	4						4	
29歳	2						1	1
30歳	3					3		
31歳	4					3	1	
32歳	5					5		
33歳	6					6		
34歳	7				1	6		
35歳	7				4	3		
36歳	2				1	1		
37歳	4				1	3		
38歳	1				1			
39歳	3				3			
40歳	6			1	5			
41歳	1				1			
42歳	5			1	4			
43歳	7			5	2			
44歳	3			3				
45歳	3			2	1			
46歳	5			5				
47歳	3			3				
48歳	3			3				
49歳	6		1	5				
50歳	0							
51歳	3		1	1	1			
52歳	2	1	1					
53歳	3		3					
54歳								
55歳								
56歳								
57歳								
58歳	2		1	1				
59歳	1		1					

(平均年齢 36.1歳)

ウ 消防吏員の勤務年数

令和5年4月1日現在

区 分 \ 在職年数	計	5年未満	5年～9年	10年～14年	15年～19年	20年～24年	25年～29年	30年～34年	35年以上
職 員	134	25	24	24	13	18	17	10	3

エ 令和4年度消防職員教育研修状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

機 関		種 別	消防司令以上	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防大学校		幹 部 科	1				
茨城県立消防学校	初任教育	初 任 科					1
	特別教育	操法指導研修会		2			
		水難救助課程					
	専科教育	救 急 科					2
		警 防 科		1			
		特 殊 災 害 科			1		
		危 険 物 科				1	
		予 防 査 察 科					
		火 災 調 査 科			1		
		救 助 科			1		
救急救命研修所	救急救命士資格取得研修			1			
土浦協同病院	救命士就業前研修			1		2	
湖 南 病 院	気管挿管病院実習(30症例)		1	1			
土浦地区MC協議会	気管・薬剤投与再講習		5	1	3		
安全運転中央研修所	消防・救急緊急自動車 運転技能者課程				1		

教育機関	科名等	教育項目及び到達目標	
消防大学校	幹部科	消防に関する高度な知識及び技術を総合的に習得させ、消防の上級幹部たるに相応しい人材の育成	
茨城県立消防学校	初任教育	初任科	新たに採用された消防職員に対して行う基礎的教育訓練、特に、警防隊員として直ちに活動できる技能及び体力向上等の実践的な教育訓練
	特別教育	操法指導研修会	茨城県消防ポンプ操法実施要領を修得し、消防団員にポンプ操法を指導できる人材の育成
		水難救助課程	水中の特殊環境下において急流救助や潜水活動に関する最新の専門的知識と高度な技能を備え救助活動を遂行する人材の育成
	専科教育	救急科	救急業務及び救急医学に関する基本的な知識、応急処置に必要な専門的知識、応急処置時における的確な観察及び判断能力を備え、救急用資器材等の取扱いに精通し必要な専門的スキルを發揮できる人材の育成
		警防科	大規模化、複雑多様化する災害に対応できる専門知識を備え、災害現場において態様に応じた適切、効果的な消防戦術を指揮する人材の育成
		特殊災害科	特殊かつ異様な災害への対応を含め、安全、適切かつ効果的な消防活動に必要な特殊物質に関する専門的知識を有し、隊員の安全管理を優先して、災害の態様に応じた的確な消防活動を理解した人材の育成
		危険物科	危険物行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行でき、かつ危険物施設に対して、許認可等の規制を的確に行い、違反を適切に処理できる人材の育成
		予防査察科	査察行政の現状及び課題を理解し、防水管理、建築規制、危険物規制及び消防用設備等の専門的知識を豊富に有し、査察要領を理解し、違反処理に関する専門的知識を習得し、違反対象物に対して正しく是正できる人材の育成
火災調査科		火災調査業務に係る制度を理解し、権限を正しく執行でき、原因調査、損害調査、鑑定等に係る専門的知識を有し、的確な判断能力を持つ人材の育成	
	救助科	厳しい条件下において救助活動を遂行し得る旺盛な士気及び強健な身体を有し、最新の専門的知識と高度な技能を備え、これらを活用した応用力を十分に發揮すると同時に自らの安全を確保できる人材の育成	

オ 免許・資格保有状況

令和5年4月1日現在

区 分		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防長	消防副士長	消防士	計	
免許	自動車免許	大型	1	7	27	19	28	12	3	97
		中型		1	1	4		4	2	12
		中型(8トン未満)※旧普通				1				1
		普通						2	17	19
	大型特殊			2	1	2				5
	牽引						2			2
資格	特殊無線技士	第二級	1	7	30	17	4			59
		第三級				8	26	18	19	71
	小型船舶操縦士			1	10	5	3	2		21
	危険物取扱者	甲種								0
		乙種(1~6)		1	12	23	28	15	15	94
	消防設備士(乙種)									0
	潜水士		1	1	11	6	12	5	1	37
	玉掛け技能講習		1	5	22	9	20	7	4	68
	移動式小型クレーン運転技能講習		1	4	19	10	19	6		59
	ガス溶接技能講習		1	3	13	3	2			22
	チェーンソー取扱者		1	3	5	2	7	2		20
	救急救命士			5	5	14	5	6	5	40
	予防技術検定			1	7	6	6	1		21
	防災士			3	3	1				7
	足場組立等作業主任			3	2	1				6
	特定化学物質等作業主任			3	1	1				5
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習				1	1	1	1		4	
安全衛生推進者				1					1	

2. 施設機械

(1) 消防力の分布



① 石岡市消防本部・石岡消防署			
TEL.0299-23-0119 FAX.0299-22-5895 総務課 27-6123 予防課 27-6125 警防課 27-6126			
所在地	石岡市石岡一丁目2番地18		
建築年月日	平成14年4月1日		
面積	消防本部・署庁舎	車庫棟	高圧ガス製造所
構造	鉄筋コンクリート造3階建	鉄筋造ALC張	鉄筋コンクリート造平屋建
敷地面積	2,562.51㎡		
建築面積	827.95㎡	105.00㎡	6.0㎡
延面積	2,365.41㎡	105.00㎡	6.0㎡

② 石岡消防署柏原分署・石岡市消防総合訓練所			
TEL.0299-35-0119 FAX.0299-35-0199			
所在地	石岡市鹿の子四丁目5番3号		
建築年月日	平成4年3月7日		
面積	分署庁舎	訓練棟A棟	訓練棟B棟 備蓄倉庫
構造	鉄骨造2階建	鉄骨造5階建	鉄骨造2階建 鉄骨造平屋建
敷地面積	5,656.00㎡		
建築面積	312.84㎡	30.91㎡	32.51㎡ 72.00㎡
延面積	599.40㎡	154.56㎡	64.40㎡ 72.00㎡

③ 石岡消防署 愛郷橋出張所	
TEL.0299-26-0119 FAX.0299-26-0199	
所在地	石岡市三村6921番地1
建築年月日	令和13年3月23日
構造	鉄骨造平屋建
敷地面積	4,913.85㎡
建築面積	570.55㎡
延面積	544.38㎡

④ 八郷消防署	
TEL.0299-43-6491 FAX.0299-43-6641	
所在地	石岡市柿岡291番地
建築年月日	昭和52年11月30日
構造	鉄骨コンクリート2階建
敷地面積	2,764.56㎡
建築面積	295.885㎡
延面積	444.285㎡

⑤ 八郷消防署 山崎出張所	
TEL.0299-28-9119 FAX.0299-46-7313	
所在地	石岡市山崎906番地35
建築年月日	平成16年11月15日
構造	鉄骨造平屋建
敷地面積	1,169.00㎡
建築面積	275.35㎡
延面積	270.99㎡

(2) 消防機動力

消防活動に欠かせない消防車両などの消防機械は、水槽付消防ポンプ自動車や救急車のほか、化学消防車、はしご自動車、救助工作車などの特殊消防自動車、その他の車両、消防舟艇を管内に配置しています。

<p style="text-align: center;">化学消防車</p>  <p>化学消火薬剤を混合するため1,300ℓの水槽と500ℓの薬液槽があり、泡放射が可能です。放水銃、耐熱服等の様々な資器材を装備しています。また、放水銃の搭載により大量放水ができるようになっています。</p>	<p style="text-align: center;">水槽付消防ポンプ自動車</p>  <p>火災現場において主力となり2,000ℓの水を積載し、消火栓や防火水槽を使用することなく消火活動を行うことができます。CAFS※を使用することで、少ない水での消火活動が可能となります。(一部CAFS未装備車有)</p>	<p style="text-align: center;">普通消防ポンプ自動車</p>  <p>主に水槽付消防ポンプ自動車に水を送る中継車として使用されます。小型のため、道路が狭い地域でも火災現場へ最接近し、CAFS※と600ℓの水槽の水を使用し、直ちに消火することができます。(一部CAFS未装備車有)</p>
<p style="text-align: center;">はしご自動車 (30m 級)</p>  <p>中高層建物など高所での消火活動や、人命救助に使用されます。はしごは長さ30m、起立角度は75度から-10度まで可動し、高所だけでなく、水難事故等で停車位置よりも低い位置に要救助者がいる場合にも有効です。</p>	<p style="text-align: center;">救助工作車 (Ⅲ型)</p>  <p>火災、交通事故、水難事故等の様々な現場において、人命救助活動に使用されます。特に、交通事故などで車両に閉じ込められた人を救助することが多くクレーン、ウインチ、油圧救助器具等を装備しています。</p>	<p style="text-align: center;">高規格救急車</p>  <p>救急救命士や救急隊員が、傷病者に対し救急活動を行うための車内空間と、救急救命処置に必要な救急資器材、固定装置、防振架台等を装備し、救急処置拡大に対応できる構造になっています。</p>

※ CAFSとは、水に少量の消火薬剤を加え、そこへ圧縮空気を送り込むことにより発泡させる装置で、水の表面積を広げることにより効率良く消火することができます。

指揮車



災害現場で指揮を執る「指揮隊」が運用します。出場と同時に、現場の詳細、出場隊の状況など多くの情報を取り入れ、的確な指揮命令を下すための資器材、通信機器等を装備しています。

可搬消防ポンプ積載車



河川等での水利部署を可能にする可搬消防ポンプを積載するほか車両進入が難しい狭い場所にも災害種別に応じ、必要な資器材を現場へ迅速に搬送することができます。

救助艇



河川・湖にて発生した水難事故等において、迅速な救助及び検索活動を行います。

(3) 消防車両等配置状況

令和5年4月1日現在

区分 配置場所	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	化学消防車	はしご自動車	救助工作車	可搬消防ポンプ積載車	広報車	高規格救急車	指揮車	救助艇	連絡車	その他の車両	合計
消防本部									1		5		6
石岡消防署	1		1	1	1	1		2	1				8
柏原分署	(1)	1						1			1		3(1)
愛郷橋出張所	1						1	1		1		1	5
八郷消防署	1	1(1)						1	1				4(1)
山崎出張所	1						1	1					3
合計	4(1)	2(1)	1	1	1	1	2	6	3	1	6	1	29(2)

()予備車

(消防車両等の内訳)

令和5年4月1日現在

配置場所	種別	緊急消防援助隊登録	初年登録年度	備考
消防本部	指揮車		H25	
	連絡車(アクティ)		H17	
	連絡車(ハイゼット)		H30	
	連絡車(プロボックス)		H21	石岡市危険物安全協会寄贈
	連絡車(ハイゼットトラック)		R 1	石岡市危険物安全協会寄贈
	連絡車(フリード)		R 4	
石岡消防署	指揮車		H12	
	化学消防車	○	H26	
	普通消防ポンプ自動車		H28	
	はしご自動車(30m級)	○	H15	
	可搬消防ポンプ積載車	○	H15	日本消防協会寄贈
	救助工作車(Ⅲ型)		H19	
	高規格救急車		H25	
	高規格救急車		R 3	
柏原分署	普通消防ポンプ自動車		H 9	予備車
	水槽付消防ポンプ自動車	○	H28	
	連絡車(カローラバン)		H 7	
	高規格救急車		H26	
愛郷橋出張所	普通消防ポンプ自動車		H19	
	広報車		H11	
	高規格救急車	○	H24	
	救助艇		H12	
	マイクロバス		R 3	
八郷消防署	指揮車		H17	
	水槽付消防ポンプ自動車	○	H18	
	普通消防ポンプ自動車		H27	
	高規格救急車		H29	
	水槽付ポンプ車		H 9	予備車
山崎出張所	普通消防ポンプ自動車		H25	
	広報車		H 8	
	高規格救急車		H27	

(4) 消防水利の状況

令和5年4月1日現在

消防水利	消 火 栓	1,365
	防 火 水 槽	1,146
	そ の 他	114
合 計		2,625

(私設水利含む)

(消防水利内訳)

消 防 水 利			公 設	私 設	合 計
消 火 栓	配 管 口 径	75mm未満	11		11
		75mm以上 150mm未満	818	3	821
		150mm以上	533		533
	消 火 栓 合 計		1,362	3	1,365
防 火 水 槽	容 量	40 m ³ 未 満	498	13	511
		40 m ³ 以 上	591	44	635
	防 火 水 槽 合 計		1,089	57	1,146
そ の 他 水 利	貯 水 池 等		17		17
	プ ー ル		30	3	33
	河 川		64		64
	そ の 他 水 利 合 計		111	3	114
消 防 水 利 施 設 合 計			2,562	63	2,625

第二章 予 防

1. 火災予防

(1) 主な火災予防の行事

(単位：人)

事業名	期日	実施内容	参加人員
火災予防運動	11月9日～15日	秋季全国火災予防運動 (ポスター配布、広報、立入検査)	
	(令和5年) 3月1日～7日	春季全国火災予防運動 (ポスター配布、広報)	
住宅用火災警報器 設置強化月間	5月29日(商工祭) 11月20日(柿岡城まつり)	住宅用火災警報器設置促進活動及び 設置率調査	182 76
	11月1日～30日	住宅用火災警報器設置促進活動及び 設置率調査 (市内中学校)	115
	(令和5年) 3月1日～31日	住宅用火災警報器設置促進活動及び 設置率調査 (市内中学校)	157
防火思想の普及	12月20日・21日	甲種防火管理新規講習会	34
	7月1日～9月30日	火災予防ポスター作品募集 (少年消防クラブ)	160
	11月8日～16日	火災予防ポスター展 (石岡市役所及び八郷総合支所にて 推薦作品を展示)	60
	(令和5年) 1月26日	文化財防火デーに伴う火災予防通知 文配布(文化財21件)	

(2) 立入検査

区分	令和3年度 件数	違反数	是正数	令和4年度 件数	違反数	是正数
防火対象物	112	56	8	63	22	2
危険物施設	31	5	4	39	6	2

2. 防火対象物状況

消防用設備等を必要とする防火対象物の状況

令和5年3月31日現在（単位：棟）

防火対象物		区分	1,000㎡未満	1,000㎡以上	計
一	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	3	1	4
	ロ	公会堂又は集会場	68	13	81
二	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ類	1		1
	ロ	遊技場又はダンスホール	4	7	11
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	1		1
	ニ	カラオケボックス等個室ビデオ	3		3
三	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	2		2
	ロ	飲食店	97		97
四		百貨店、マーケット、店舗、展示場	114	40	154
五	イ	旅館、ホテル、宿泊所類	14	4	18
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	259	29	288
六	イ	病院、診療所又は助産所	38	15	53
	ロ	自力避難困難者が入所する社会福祉施設	31	42	73
	ハ	上記ロ以外の「社会福祉施設」	70	3	73
	ニ	幼稚園、特別支援学校	5	3	8
七		小、中、高、大学校、各種学校	35	40	75
八		図書館、博物館、美術館類	29	1	30
九	イ	蒸気浴場、熱気浴場に類する公衆浴場	1	1	2
	ロ	(イ)に掲げる以外の公衆浴場			0
十		車両の停車場	1		1
十一		神社、寺院、教会類	29		29
十二	イ	工場又は作業場	255	122	377
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ			0
十三	イ	車庫又は駐車場	2	3	5
	ロ	飛行機の格納庫			0
十四		倉庫	153	25	178
十五		前各項に該当しない事業所	234	50	284
十六	イ	特定用途部分が有る複合用途対象物	84	24	108
	ロ	(イ)以外の複合用途対象物	39	13	52
十七		重要文化財、民俗資料史跡等	10		10
合 計			1,582	436	2,018

3. 予防事務処理状況

(1) 法令関係

令和4年4月1日～令和5年3月31日

種 別	件 数
防火管理者選任（解任）届出	140
消防計画届出	161
消防用設備等点検結果報告書	488
消防用設備等着工届出	36
消防用設備等設置届出	117
消防用設備等検査済証交付	58
防火対象物点検報告届出	46
圧縮アセチレンガス等の貯蔵・取扱	32
合 計	1,078

(2) 火災予防条例関係

種 別	件 数
防火対象物使用開始届出	39
火を使用する設備等の設置届出	4
変電・発電・蓄電池設備設置届出	16
少量危険物貯蔵取扱届出	11
少量危険物廃止届出	2
火災と紛らわしい行為の届出	101
催物開催届出	6
道路工事届出	155
水道断水減水届出	7
煙火打上げ届出	15
禁止行為の解除承認申請	14
指定可燃物貯蔵取扱届出	4
露店等の開設届出	47
合 計	421

(3) 建築確認に対する消防同意関係

種 別	件 数
新 築	55
増 築	6
そ の 他	2
合 計	63

4. 危険物

(1) 危険物製造所等の施設数

令和5年3月31日現在

区分	製造所	貯蔵所							取扱所				合計	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	(自家用) 販売取扱所	一般取扱所	(詰替)		
	1	41	15	2	57	0	23	5	55	29	0	41	8	240

(2) 数量別危険物施設状況

令和5年3月31日現在

区分 倍数	製造所	貯蔵所							取扱所			合計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
5倍以下		12	4	1	36		15	4	4		13	89
5倍を超え10倍以下		11	2	1	6		1	1	7		18	47
10倍を超え50倍以下		16	6		9		4		18		10	63
50倍を超え100倍以下	1	1	3		3		3		9			20
100倍を超え150倍以下					3				6			9
150倍を超え200倍以下									4			4
200倍を超え1,000倍以下		1							7			8
1,000倍を超え5,000倍以下												0
合計	1	41	15	2	57	0	23	5	55	0	41	240

(3) 危険物事務処理状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

予防

区分 申請届出別		製造所	貯蔵所						取扱所			その他	計	
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所			一般取扱所
許可	設置													0
	変更				2		4			6		7		19
完成検査	設置													0
	変更				2		4			5		5		16
検査	水圧													0
	水張													0
承認	仮貯蔵													0
	仮取扱											3		3
	仮使用								4		5			9
認可	予防規程								7					7
届出	廃止			3		2						1		6
	譲渡			2				2		2				6
	数量倍数変更													0
	保安監督者	選任		2	1	1	3				9		4	
解任										1				1
資料提出等			3		1	14		6		25		14		63

5. 防火広報協力団体一覧

防火広報協力団体

令和5年4月1日現在

名 称	設 立 年 月 日	会 員 数
石岡市危険物安全協会	昭和34年7月23日	123名
石岡市幼少年女性防火委員会（13団体）	昭和54年11月21日	269名

（石岡市幼少年女性防火委員会内訳）

名 称	設 立 年 月 日	会 員 数
石岡小学校少年消防クラブ	昭和54年11月26日	11名
府中小学校少年消防クラブ	昭和54年11月26日	4名
石中学区女性防火クラブ	昭和54年12月3日	11名
三村小学校少年消防クラブ	昭和55年7月1日	9名
柿岡小学校少年消防クラブ	昭和55年11月18日	30名
八郷女性防火クラブ	昭和55年11月18日	12名
石岡幼稚園幼年消防クラブ	昭和57年7月3日	62名
園部小学校少年消防クラブ	昭和59年7月5日	30名
小桜小学校少年消防クラブ	昭和59年7月13日	19名
やさと中央保育所幼年消防クラブ	昭和59年12月21日	61名
府中学区女性防火クラブ	昭和63年12月8日	0名
石岡東女性防火クラブ	平成7年7月29日	12名
府中ひまわり女性防火クラブ	平成9年6月22日	8名

第三章 警 防

1. 火 災

(1) 月別火災発生状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
件 数(件)	5	3	1	3	1	5	1	4	0	2	0	2	27	
火災種別	建 物(件)	2	1	1	2	1	4	1	2		1		2	17
	林 野(件)	2												2
	車 両(件)				1									1
	その他(件)	1	2				1		2		1			7
焼損程度棟数	全 焼(棟)	3	6				4	1	2		1			17
	半 焼(棟)					1								1
	部分焼(棟)				1				2			2		5
	ぼ や(棟)			1	1		2		2					6
罹災世帯	全損(世帯)	1	1			1	2	1	1		1			7
	半損(世帯)													0
	小損(世帯)				2	1	3							6
罹災人員(人)	3	2		4	2	11		4		1			27	
死傷者	死 者(人)	1												1
	傷 者(人)	1		1			1							3
焼損面積	建 物(m ²)	142	610	0	5	33	439	74	134		181		7	1,625
	林 野(a)	5												5
	その他(a)		81											81
損害見積額(千円)	建 物	23,405	4,340	0	1,983	11,003	29,310	1,139	1,418		3,419		116	76,133
	林 野	35												35
	車 両				20				266					286
	そ の 他		100						18		4			122
	合 計	23,440	4,440	0	2,003	11,003	29,310	1,139	1,702	0	3,423	0	116	76,576

※建物の焼損面積については、床面積とする。

(2) 用途又は出火物件

令和4年1月1日～令和4年12月31日

種 別	月 別												計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
建 物 火 災	住 宅	1	1		1	1	3		1		1		1	10
	納 屋													0
	店 舗								1					1
	倉 庫													0
	工 場													0
	共 同 住 宅				1									1
	そ の 他	1		1			1	1					1	5
林 野	2												2	
車 両				1									1	
そ の 他	1	2				1		2		1			7	
合 計	5	3	1	3	1	5	1	4	0	2	0	2	27	

(3) 時間・原因別火災発生状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

原因別	時間別												計
	0 ～ 2	2 ～ 4	4 ～ 6	6 ～ 8	8 ～ 10	10 ～ 12	12 ～ 14	14 ～ 16	16 ～ 18	18 ～ 20	20 ～ 22	22 ～ 24	
ガスバーナー					1								1
ガスこんろ(ガステーブル含む)							1			1	1		3
簡易型ガスコンロ									1				1
フライヤー					1								1
たばこ					1								1
枯れ草焼き							2						2
内 燃 機 関					1								1
耕運機の輻射を受けて発火									1				1
屋 内 配 線	1						1						2
ごみ焼却炉の火の粉								1					1
火のついたゴミ					1	1							2
取 灰							1						1
炭 火										1			1
エンジンカッターの火花						1							1
切 削 く ず					1								1
間 接 雷								1					1
放 火 の 疑 い										1			1
不 明	1								3	1			5
合 計	2	0	0	0	6	2	5	2	5	4	1	0	27

(4) 過去5力年の出火原因

原因別	年別	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
ガスバーナー			1			1
石油バーナー					1	
ガスこんろ(ガステーブル含む)		1	1	1		3
簡易型ガスこんろ					1	1
フライヤー						1
テーブルトップ		1			1	
電気コンロ		1				
溶接機・切断機				1		
石油ストーブ		1	1		1	
電気ストーブ			1			
排気管				1		
煙突			1		1	
掃除機					1	
たばこ		1	3			1
たき火		4	2	1	1	
枯れ草焼			2	1		2
たき火の火花		1		2	1	
研磨機の火花					1	
帯電衣類のスパーク					1	
内燃機関				1	1	1
耕耘機の輻射を受けて発火						1
その他の配線器具		1			1	
屋内配線						2
液化石油ガスを用いる固定したガス設備					1	
配電線(高圧)		1		1		
コンデンサー(低圧)			1			
蓄電池					1	
消し炭薪				1		
ごみ焼却炉の火花					1	1
漏電				1		
かな屑					1	
火のついたゴミ			1		1	2
その他の裸火		1		1		
エンジン				1		
風呂かまど		1		1		
その他のまき(炭窯)			1			
取炭				1		1
ハンドトーチ				1		
発電機(オルタネーター)				1		
バッテリー				1		
交通機関内配線				1	1	
ブレーキライニング				1		
炭火				1		1
線香			1			
エンジンカッターの火花						1
切削くず						1
その他のレンズ			1			
間接雷						1
放火の疑い			1	2	1	
不明		6	4	7	1	1
不合計		9	4	2	5	5
合計		29	26	32	25	27

警防隊の訓練

火災、救急、救助等の多種多様な災害に対応するため、年間を通じて各種訓練等を行い災害対応力の向上に努めています。

ここでは、令和4年度中における主な訓練や講習会をご紹介します。

1 消防総合訓練

5階建てビル3階からの出火を想定した総合訓練を実施しました。

ドローンを使用した情報収集や現場指揮を担う指揮隊、火災の性状を見極め効果的な消火戦術で活動する消防隊、逃げ遅れた要救助者の救出活動を迅速確実に進行する救助隊、高度な救急資器材を駆使し救命処置を行う救急隊。

指揮統制のもと、各隊が連携し安全かつ迅速な活動を行い、部隊能力向上に努めました。



2 山岳救助合同訓練

隣接消防本部との連携を強化し、消防力の充実を図ることを目的としてつくば市消防本部とつくばふれあいの里において訓練を行いました。



3 救急技術訓練

救急隊員に求められることは日々高度化しています。救急救命士を含む救急隊員の生涯学習の一環として、処置や判断能力の向上と更なる救急業務充実を図るために訓練を実施しました。



2. 救 急

(1) 救急出動状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

月 別	種 別 区 分	合 計	救 急 事 故 種 別												不 搬 送	
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送		そ の 他
1	出動件数(件)	341	4			16	2		60	1	1	225	21		11	
	搬送件数(件)	291	2			15	2		57	1		193	21			50
	搬送人員(人)	293	2			16	2		57	1		194	21			
2	出動件数(件)	284	1		1	27		1	27		1	202	21		3	
	搬送件数(件)	261				24		1	25		1	189	21			23
	搬送人員(人)	263				24		1	25		1	191	21			
3	出動件数(件)	331	1			16	3		40		4	235	26		6	
	搬送件数(件)	288	1			13	3		36		1	208	26			43
	搬送人員(人)	290	1			15	3		36		1	208	26			
4	出動件数(件)	301	2			20	3		54	1	1	189	24		7	
	搬送件数(件)	266				16	3		49	1	1	172	24			35
	搬送人員(人)	268				17	3		49	1	1	173	24			
5	出動件数(件)	295	1			13	4		39	3	2	202	19		12	
	搬送件数(件)	250				10	4		35	2	1	179	19			45
	搬送人員(人)	251				11	4		35	2	1	179	19			
6	出動件数(件)	330	2			22		1	47	1	4	224	20		9	
	搬送件数(件)	282				20		1	42	1	2	196	20			48
	搬送人員(人)	282				20		1	42	1	2	196	20			
7	出動件数(件)	350	1			24	4		41	2	1	239	32		6	
	搬送件数(件)	300				20	4		35	2	1	206	32			50
	搬送人員(人)	301				20	4		35	2	1	207	32			
8	出動件数(件)	393	1			23	3	2	43			281	34		5	
	搬送件数(件)	341				22	3	2	31			249	34			52
	搬送人員(人)	343				23	3	2	31			250	34			
9	出動件数(件)	337				13	1	1	48	3	4	224	25		18	
	搬送件数(件)	294				10	1	1	46	2	2	207	25			43
	搬送人員(人)	295				11	1	1	46	2	2	207	25			
10	出動件数(件)	319	1			21		1	56		1	208	20		11	
	搬送件数(件)	272				19		1	48		1	183	20			47
	搬送人員(人)	275				21		1	49		1	183	20			
11	出動件数(件)	290				10	2		31	1	2	218	22		4	
	搬送件数(件)	258				7	2		29	1	1	196	22			32
	搬送人員(人)	258				7	2		29	1	1	196	22			
12	出動件数(件)	426	1			26	1		62	2	6	294	28		6	
	搬送件数(件)	363				23	1		55	2	6	248	28			63
	搬送人員(人)	367				26	1		56	2	6	248	28			
総 数	出動件数(件)	3,997	15	0	1	231	23	6	548	14	28	2,741	292	0	98	
	搬送件数(件)	3,466	3	0	0	199	23	6	488	12	17	2,426	292	0	0	531
	搬送人員(人)	3,486	3	0	0	211	23	6	490	12	17	2,432	292	0	0	

(2) 曜日別・事故種別出動件数

令和4年1月1日～令和4年12月31日

事故種別 曜日	救 急 事 故 種 別												計	
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
											転 院 搬 送	医 師 搬 送		そ の 他
月 曜	4			31	4	2	91		8	401	56		12	609
火 曜	3			25	8		64	2	4	419	51		16	592
水 曜	2			28	4		74	3	1	373	50		9	544
木 曜	1			37	1		69	2	4	387	41		19	561
金 曜	2			41	2		82	2	5	377	50		18	579
土 曜	1		1	31	1	1	74	1	4	380	33		13	540
日 曜	2			38	3	3	94	4	2	404	11		11	572
合 計	15		1	231	23	6	548	14	28	2,741	292		98	3,997

(3) 傷病程度別搬送人員

令和4年1月1日～令和4年12月31日

事故種別 傷病程度	救 急 事 故 種 別												計	
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
											転 院 搬 送	医 師 搬 送		そ の 他
死 亡				2			4			67				73
重 症	1			12	1		58		2	184			47	305
中 等 症				28	10		135	2	10	1,001			214	1,400
軽 症	2			169	12	6	293	10	5	1,180			31	1,708
そ の 他														
合 計	3			211	23	6	490	12	17	2,432			292	3,486

- ※ (1) 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものを言う。
 (2) 重症とは、傷病程度が三週間以上の入院加療を必要とするものを言う。
 (3) 中等症とは、重症又は軽症以外のものを言う。
 (4) 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものを言う。
 (5) 傷病程度の「その他」は歯科医院等に搬送したものを言う。

(4) 署所別救急出動及び搬送人員

令和4年1月1日～令和4年12月31日

事故種別 区分	合計	救急事故種別											不搬送			
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送		医師搬送	その他	
出動件数																
石岡	1,391	8		1	76	4	1	171	11	10	918	150		41	192	
柏原	715	5			55	3	2	101	1	7	482	47		12	105	
愛郷橋	545				27	3	1	78	1	3	387	33		12	52	
八郷	755	1			40	7		130		4	533	17		23	98	
山崎	591	1			33	6	2	68	1	4	421	45		10	84	
計	3,997	15		1	231	23	6	548	14	28	2,741	292		98	531	
搬送人員																
石岡	1,209	2			77	4	1	154	11	7	803	150				
柏原	614	1			48	3	2	86		4	423	47				
愛郷橋	493				23	3	1	74	1	1	357	33				
八郷	661				35	7		120		2	480	17				
山崎	509				28	6	2	56		3	369	45				
計	3,486	3	0	0	211	23	6	490	12	17	2,432	292				

(5) 事故種別・年齢別搬送人員

令和4年1月1日～令和4年12月31日

事故種別 年齢区分	救急事故種別											計		
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
											転院搬送		医師搬送	その他
新生児							2			5				7
乳幼児				1			29			91	6			127
少年				17		4	13	1	3	59	10			107
成人	2			121	16	2	89	8	12	614	65			929
老人	1			72	7		357	3	2	1,663	211			2,316
合計	3			211	23	6	490	12	17	2,432	292			3,486

(6) 発生場所別搬送人員

令和4年1月1日～令和4年12月31日

区分	発生場所別					計
	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他	
急病	1,839	490	35	52	16	2,432
交通	4	8		193	6	211
一般負傷	324	114	3	29	20	490
その他	31	296	21	3	2	353
計	2,198	908	59	277	44	3,486

(7) 救命講習会実施状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

区 分	回 数	参加人数
基 礎 救 命 講 習	3	31
普 通 救 命 講 習 I	7	108
普 通 救 命 講 習 II		
普 通 救 命 講 習 III	2	8
救 命 入 門 コ ー ス	9	334
合 計	21	481

(8) 救急救命士配置状況

令和5年4月1日現在

署所別 階 級	消防本部	石岡消防署	柏原分署	愛郷橋出張所	八郷消防署	山崎出張所	合 計
消防司令長	3	2					5
消防司令	1	4					5
消防司令補	4	4	1	2	2	1	14
消防士長		1	1		2	1	5
消防副士長		2		1	1	2	6
消 防 士		1	2	1	1		5
合 計	8	14	4	4	6	4	40

3. 救 助

(1) 救助出動状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

区 分	事 故 種 別										合 計
	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	
	建 物	そ の 他									
出 動 件 数	7		22		1		2	1		24	57
救 出 人 員	1		19				2			12	34

(2) 行 事

令和4年1月1日～令和4年12月31日

月 日	実 施 項 目	場 所	参加人員	備 考
6月18日	第49回茨城県消防救助技術大会	筑西広域市町村圏 事務組合消防本部	14名	
8月26日	第50回全国消防救助技術大会	東京都立川市泉町935番地 立川立飛特設会場	1名	
9月29日～9月30日	水難救助訓練	石岡市井関八木排水機場 北東側約300m地点	13名	
10月26日～10月27日	山岳救助合同訓練	茨城県つくば市 筑波ふれあいの里	19名	つくば市消防本部合同

(3) 訓練状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

訓練種別 区 分	体 力 練 成	ロープ 結 索	検 索 救 助	器 具 扱 扱	救 助 定 定	水 難 救 助	梯子車	その他	合 計
実施回数	87	91		37	33	7	14	7	276
実施延人員	659	925		152	172	45	50	32	2,035

(4) 救助隊員配置状況

令和5年4月1日現在

署所別 階 級	合 計	専任救助隊（兼任）		兼 任 救 助 隊			
		消防本部	石岡消防署	柏原分署	愛郷橋出張所	八郷消防署	山崎出張所
消 防 司 令	2	1	1				
消 防 司 令 補	2		1			1	
消 防 士 長	9		6			3	
消 防 副 士 長	7		3	2		2	
消 防 士	8		6			2	
合 計	28	1	17	2	0	8	0

4. 情報通信

(1) 災害覚知別受信状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

種 別	着信件数	119専用回線			その他
		NTT 固定電話	I P 電話	携帯電話	加入電話等
火 災	51	11	5	33	2
救 急	3,715	699	1,061	1,717	238
救 助	44	11	3	20	10
その他災害	201	29	26	96	50
病院問合せ	1,121	34	58	254	775
通 報 訓 練	253	61	1	4	187
そ の 他	895	269	102	524	0
合 計	6,280	1,114	1,256	2,648	1,262

※種別その他…災害問合せ、間違い、いたずら等

(2) 緊急通報システム受信状況

令和4年1月1日～令和4年12月31日

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災													0
救 急	6	3	3	7	6	2	7	8	5	2	2	10	61
救 助													0
その他の災害				2	1		1	2			1	2	9
相 談				3	9	2	4	2	3	2		3	28
電池切れ	8	3	82		1	3	10	3	7	6	2	7	132
テスト通報	20		211	1	17	12	1	8	1	9	20	14	314
そ の 他	15	2	5	8	14	4	26	24	37	13	6	11	165
合 計	49	8	301	21	48	23	49	47	53	32	31	47	709

(3) 気象年報

令和4年1月1日～令和4年12月31日
(標高33m)

月	平均風速 (m/s)	平均風向	最大瞬間 風速 (m/s)	月平均 気温 (℃)	月平均 相対湿度 (%)	実効湿度 (%)	10分最大 雨量 (mm)	月積算 雨量 (mm)
1	0.6	西	16.2	2.6	57.0	57.3	1.0	20.0
2	0.6	西北西	14.5	3.5	55.7	55.8	1.0	65.5
3	1.2	北東	12.9	8.9	65.1	63.5	2.0	90.0
4	1.5	北東	17.1	14.2	72.9	72.8	2.5	138.5
5	1.2	北東	14.6	17.8	74.5	74.2	10.0	152.5
6	1.5	北東	13.2	22.2	77.7	78.3	2.0	47.5
7	1.4	北東	12.6	26.9	79.6	78.8	13.5	134.5
8	1.7	南南西	17.1	26.8	78.6	78.3	6.0	93.0
9	1.4	北東	14.5	23.6	81.1	81.8	14.0	152.0
10	1.0	北北西	13.1	16.3	76.7	77.2	2.0	72.5
11	0.6	北北西	15.0	12.8	76.2	75.2	4.5	50.0
12	0.6	南西	39.5	5.6	65.4	66.8	1.0	35.5

(4) 119番通報入電から緊急出動まで

現在の社会情勢や自然環境の変化に伴い複雑・多様化する災害に迅速・的確に対応するため、県内20消防本部（33市町）は、水戸市内原町にある「いばらき消防指令センター」における消防指令業務の共同運用を平成28年6月から開始し、当石岡市管内の119番通報の受信場所も「いばらき消防指令センター」となりました。

県内33市町の119番通報がいばらき消防指令センターにつながります。



いばらき消防指令センター

通報内容から要請場所を特定し、最寄りの消防署に出動指令をかけます。



管轄担当署所

各災害に対応した消防車や救急車を出動させます。



消防車



救急車



火災



救急

早期に医療介入が必要と判断した場合、ドクターヘリやドクターカーを要請します。



ドクターヘリ

地上からの救助活動が困難な場合、防災ヘリを要請し共に活動します。



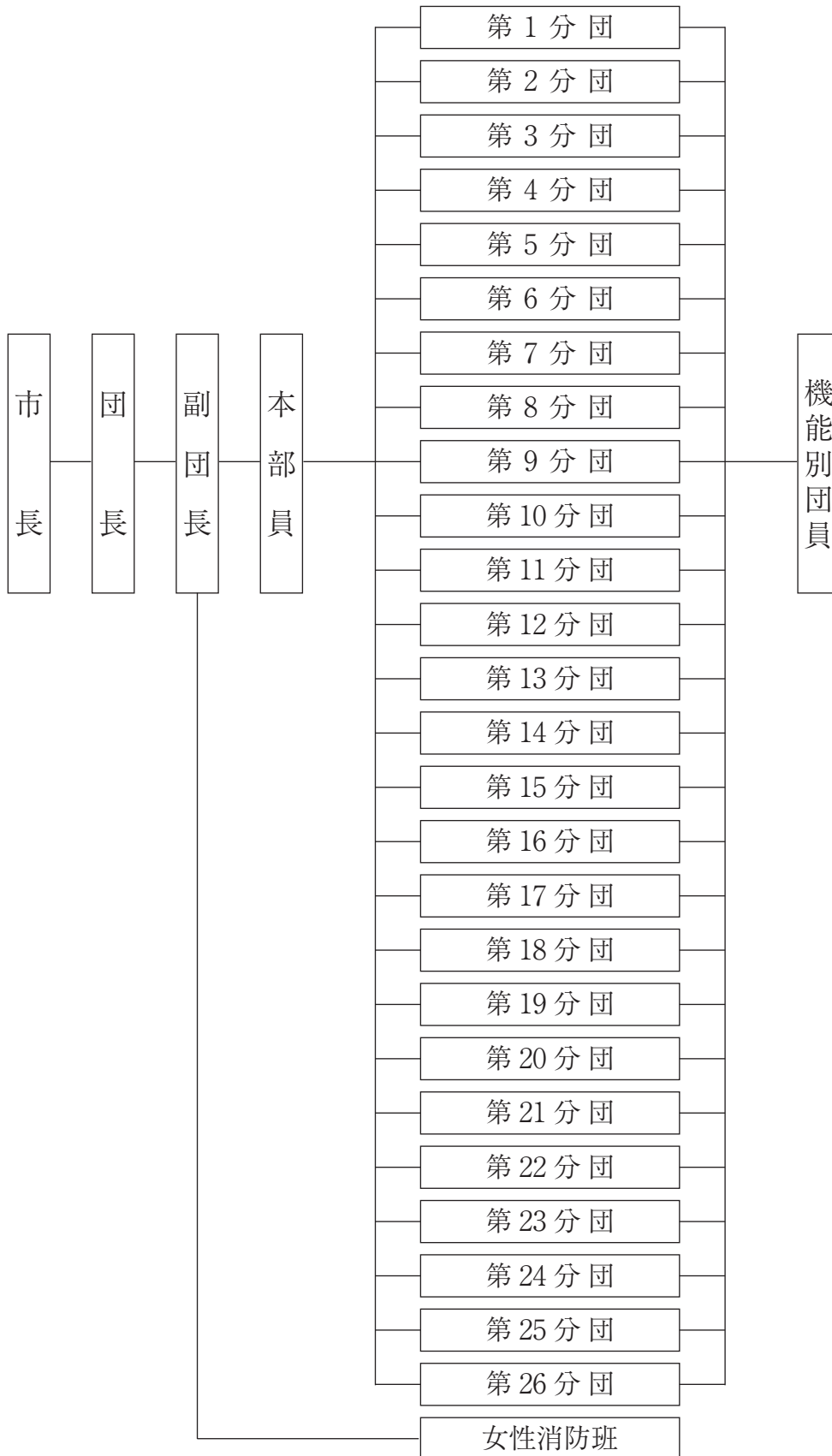
茨城県防災ヘリ

第四章 消防团

1. 庶務

(1) 消防団の組織図

令和5年4月1日現在



消防団

(2) 団員関係

ア 消防団分団別人員配置状況

令和5年4月1日現在

分団	階級	団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	班長	団員	団員 (機能別)	計
消防団本部		1	4	7						12
女性消防班							1	16		17
第1分団					1	1	3	12	2	19
第2分団					1	1	3	10	2	17
第3分団					1	1	3	10	2	17
第4分団					1	1	3	10	2	17
第5分団					1	1	3	8	1	14
第6分団					1	1	3	10		15
第7分団					1	1	3	9	2	16
第8分団					1	1	3	9	2	16
第9分団					1	1	3	12		17
第10分団					1	1	3	11		16
第11分団					1	1	4	13		19
第12分団					1	1	5	15		22
第13分団					1	1	5	14		21
第14分団					1	1	5	15		22
第15分団					1	1	5	10		17
第16分団					1	1	5	7		14
第17分団					1	1	5	18		25
第18分団					1	1	5	13	2	22
第19分団					1	1	5	7	2	16
第20分団					1	1	5	9	2	18
第21分団					1	1	5	14		21
第22分団					1	1	5	12	1	20
第23分団					1	1	5	11	1	19
第24分団					1	1	5	16	2	25
第25分団					1	1	5	10	1	18
第26分団					1	1	4	3		9
合計(人数)		1	4	7	26	26	109	304	24	501

イ 階級別年齢状況

令和5年4月1日現在

年齢	階級	団長	副団長	本部員	分団長	副分団長	班長	団員	団員 (機能別)	計
18 ~ 20										
21 ~ 25								12		12
26 ~ 30								31		31
31 ~ 35							3	64		67
36 ~ 40						3	23	84		110
41 ~ 45					8	8	35	66	2	119
46 ~ 50					4	4	34	37	4	83
51 ~ 55				1	9	9	12	6	7	44
56 ~ 60				5	4	2	2	4	7	24
61歳以上		1	4	1	1				4	11
合計		1	4	7	26	26	109	304	24	501

ウ 在職年数消防団員数

令和5年4月1日現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計
団員数	106	113	121	80	47	18	16	501

(3) 消防団員の報酬・費用弁償

ア 消防団員年額報酬

令和5年4月1日現在

職名	団長	副団長	分団長	副分団長	班長	団員	機能別団員
金額(円)	90,000	70,000	50,000	46,000	38,000	36,500	10,000

イ 消防団員出動報酬及び費用弁償

令和5年4月1日現在

種別	支給区分	金額(円)	摘要
災害(4時間以上)	出動報酬 (1日につき)	8,000	災害のため職務に従事した者に支給する。
災害(2時間以上)		4,000	
災害(2時間未満)		2,000	
警戒		2,000	
訓練		1,100	災害に関する訓練に従事した者に支給する。
その他		1,100	行事及び会議並びに火災予防、救急等の啓発(講習を含む。)に従事した者に支給する。
賄い	費用弁償 (1食につき)	1,000	現金支給は、行わない。

2. 施設機械

(1) 消防団詰所(車庫)概要

令和5年4月1日現在

所 属	所 在 地	建 物 構 造	延面積㎡	建築年度
団 本 部	石岡市府中二丁目726番地1	鉄 骨 平 屋 建	19.30	S60
第 1 分団	石岡市若宮一丁目3番43号	鉄 骨 2 階 建	44.52	S56
第 2 分団	石岡市府中三丁目8番10号	鉄 骨 2 階 建	47.62	S57
第 3 分団	石岡市国府五丁目2番17号	鉄 骨 2 階 建	48.12	S63
第 4 分団	石岡市国府六丁目3番1号	鉄 骨 2 階 建	48.12	S60
第 5 分団	石岡市染谷960番地4	鉄 骨 2 階 建	80.00	H9
第 6 分団	石岡市杉並四丁目5番23号	鉄 骨 2 階 建	88.00	H12
第 7 分団	石岡市東光台二丁目2番18号	鉄骨2階建(鉄骨平屋建)	48.12/28.00	S60/H16
第 8 分団	石岡市高浜797番地	鉄 骨 2 階 建	66.11	H4
第 9 分団	石岡市三村7626番地 1	鉄 骨 2 階 建	80.00	H7
第 10 分団	石岡市井関38番地 1	鉄 骨 2 階 建	80.00	H7
第 11 分団	石岡市柿岡2009番地3	鉄 骨 2 階 建	88.81	H19
第 12 分団	石岡市片野642番地	C B 造(車庫のみ)	22.94	S46
	石岡市柿岡4425番地2	C B 造(車庫のみ)	23.82	S48
第 13 分団	石岡市小幡3280番地1	鉄 骨 平 屋 建	86.04	H17
第 14 分団	石岡市須釜1372番地1	C B 造(車庫のみ)	21.94	S46
	石岡市下青柳929番地2	C B 造(車庫のみ)	23.36	S49
第 15 分団	石岡市吉生743番地2	C B 造(車庫のみ)	23.28	S43
	石岡市上曾1195番地	C B 造(車庫のみ)	23.23	S62
第 16 分団	石岡市鯨岡415番地1	鉄 骨 平 屋 建	57.96	H17
第 17 分団	石岡市大塚3032番地	鉄 骨 2 階 建	90.93	H10
	石岡市大增3606番地	鉄 骨 2 階 建	105.01	H7
第 18 分団	石岡市小見818番地1	C B 造 2 階 建	48.50	S53
第 19 分団	石岡市瓦谷449番地	鉄 骨 2 階 建	90.93	H10
第 20 分団	石岡市宇治会309番地	C B 造 2 階 建	50.18	S51
	石岡市野田908番地	C B 造 2 階 建	46.25	S46
第 21 分団	石岡市山崎1694番地1	鉄 骨 2 階 建	90.93	H10
第 22 分団	石岡市東成井904番地	C B 造平屋別棟	54.81	S47
	石岡市東成井1978番地8	C B 造平屋別棟	60.37	S56
第 23 分団	石岡市根小屋1666番地	C B 造(車庫のみ)	23.48	S52
	石岡市下林857番地	C B 造(車庫のみ)	24.34	S50
第23・24分団	石岡市下林859番1	鉄 骨 2 階 建	149.88	R4
第 24 分団	石岡市下林496番地12	C B 造 2 階 建	46.90	S46
	石岡市片岡826番地3	C B 造 2 階 建	23.52	S50
第 25 分団	石岡市半田320番地2	C B 造 2 階 建	48.80	S54
第 26 分団	石岡市月岡878番地	C B 造(車庫のみ)	27.23	S55
	石岡市菖蒲沢307番地1	C B 造(車庫のみ)	23.40	S56

(2) 消防団機動力

消防活動に欠かせない消防団車両などの消防機械は、消防団指揮車、普通消防ポンプ自動車、普通消防ポンプ自動車（可搬消防ポンプ積載）、可搬消防ポンプ積載車を管内に配置しています。

指揮車



消防団の現場指揮及び統制のため、消防団長等が出動する車両です。円滑な災害活動に消防団と消防署の連携は欠かせません。

普通消防ポンプ自動車



日本一の配備数を誇る車両で、主に水を送る中継車として使用されます。単体でも消火活動が可能であり、火災現場では消防署と連携し、消火活動にあたります。

普通消防ポンプ自動車(可搬消防ポンプ積載)



ポンプを使用した消火活動を行うことができ、消防水利や河川等の自然水利を活用し可搬消防ポンプでの消火活動も可能な消防車両です。



可搬消防ポンプ積載車



消防水利や、河川等の自然水利を活用し、消火活動を行うことができます。



(3) 消防団車両現勢

令和5年4月1日現在

所 属	種 別	車 両 種 別	初度登録年度	備 考
団 本 部		指 揮 車	H14	
第 1 分 団		普通消防ポンプ自動車	H25	
第 2 分 団		普通消防ポンプ自動車	H29	
第 3 分 団		普通消防ポンプ自動車	H30	
第 4 分 団		普通消防ポンプ自動車	H30	
第 5 分 団		普通消防ポンプ自動車	H18	
第 6 分 団		普通消防ポンプ自動車	H12	
第 7 分 団		普通消防ポンプ自動車	H17	
第 8 分 団		普通消防ポンプ自動車	R 4	
第 9 分 団		普通消防ポンプ自動車	H12	
第 10 分 団		普通消防ポンプ自動車	H17	
第 11 分 団		普通消防ポンプ自動車	R 1	可搬消防ポンプ積載
第 12 分 団		普通消防ポンプ自動車	H15	
		可搬消防ポンプ積載車	H13	
第 13 分 団		普通消防ポンプ自動車	R 2	可搬消防ポンプ積載
第 14 分 団		可搬消防ポンプ積載車	H10	
		普通消防ポンプ自動車	H16	
第 15 分 団		普通消防ポンプ自動車	R 3	可搬消防ポンプ積載
第 16 分 団		普通消防ポンプ自動車	H15	
第 17 分 団		普通消防ポンプ自動車	R 3	可搬消防ポンプ積載
第 18 分 団		普通消防ポンプ自動車	H28	
第 19 分 団		普通消防ポンプ自動車	H25	可搬消防ポンプ積載
第 20 分 団		普通消防ポンプ自動車	H16	
		可搬消防ポンプ積載車	H14	
第 21 分 団		普通消防ポンプ自動車	H27	
第 22 分 団		普通消防ポンプ自動車	R 2	可搬消防ポンプ積載
第 23 分 団		普通消防ポンプ自動車	R 1	可搬消防ポンプ積載
第 24 分 団		普通消防ポンプ自動車	H 8	
		可搬消防ポンプ積載車	R 4	可搬消防ポンプ積載
第 25 分 団		普通消防ポンプ自動車	H29	可搬消防ポンプ積載
第 26 分 団		普通消防ポンプ自動車	H 8	
		可搬消防ポンプ積載車	H14	

(4) 消防団分布図



拡大図A



拡大図B



かすみがうら市

(5) TOPICS

ア 石岡市消防団第23・24分団詰所（令和5年3月28日完成）



施設概要

所在地 / 石岡市下林859番1
構造 / 鉄骨造
敷地面積 / 621.59㎡
建築面積 / 80.19㎡
延べ面積 / 149.88㎡
階数 / 2階建（車庫：76.08㎡/詰所：73.80㎡）
設計・監理 / 三輪建築設計事務所
施工 / 小桜建設株式会社

イ 石岡市消防団第8・24分団 普通消防ポンプ自動車更新（令和5年2月3日納車）



今回更新した普通消防ポンプ自動車は、最新型のCD-1型消防ポンプ自動車です。第24分団車両(左)には山間部の狭い場所でも自然水利を使って消火活動ができるよう、可搬消防ポンプを積載しています。

消防年報

発行 令和5年8月

編集 石岡市消防本部

石岡市消防本部

〒315-0001 茨城県石岡市石岡一丁目2番地18

TEL. 0299-23-0119 / FAX. 0299-22-5895

テレフォンサービス. 0299-24-1818

URL <http://fd.city.ishioka.lg.jp/>

E-mail shoubou@city.ishioka.lg.jp